



アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第251回演奏会

The New Symphony Orchestra – 251st Concert

指揮 **湯浅卓雄**
YUASA Takuo, conductor

シベリウス「カレリア」組曲

Jean SIBELIUS (1865-1957): Karelia Suite, Op. 11, 1893

芥川也寸志 交響三章

AKUTAGAWA Yasushi (1925-1989): Trinita Sinfonica, 1948

シベリウス 交響曲第1番 ホ短調

Jean SIBELIUS (1865-1957): Symphony No. 1 in e minor, Op. 39, 1899

*曲目は以前の予告から上記の通りに変更いたしましたのでご注意ください。 Design: IMAO Keisuke

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団助成事業

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2020年10月18日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, October 18, 2020, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,000 (全席指定)

チケットのお申し込み: 新交響楽団ホームページ <http://www.shinkyō.com/>

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイメージ 03(3235)3777 *10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

・客席内でのソーシャル・ディスタンス確保のため、ご購入できるお座席を一部制限しております。

・感染予防及び公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前予約・引き取り・購入をおすすめいたします。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

アマチュアとは音楽を愛すること

新型コロナウイルス感染症のため、多くのコンサートが中止になりましたが、制約を受けながらも少しずつホールでの演奏会が再開されています。しかし音楽を楽しみでやっているアマチュアに許されるのだろうかとも悩みましたが、新響はできるだけのことをして前に進むとなりました。約半年ぶりの活動再開には、新響らしくて、私たちが聴いてくださる皆様も音楽の喜びを共有できるプログラムにしたいと考えました。

フィンランド～日本から一番近いヨーロッパ

北欧の国フィンランドは、ヨーロッパの中で日本からの距離が最も近く国民性も似ています。シャイで時間に正確、木の家に住み靴を脱ぐ。言葉の音が近く、森林面積が多く自然を信仰している。日本人がフィンランドの国民的作曲家シベリウスの音楽に共感するのは、そのような背景があるのかもしれませんが。

カレリアとは、現在のフィンランドの南東部からロシアの北西部にかけて広がる森林と湖沼の多い地方で、フィンランドの歴史と伝承文化の宝庫でもあります。愛妻家で知られるシベリウスが新婚旅行に行ったのもカレリアで、その翌年カレリア地方の歴史劇の挿入音楽を依頼されました。そのうちの3曲が組曲として現在コンサートでよく演奏されています。

すでに交響詩で名声を得ていたシベリウスは、その後交響曲作曲家としての道を進みます。ベルリオーズの「幻想交響曲」に感銘し標題のある交響曲を計画しましたが、結局は純粋な交響曲第1番が完成しました。チャイコフスキーやブルックナーの影響を受けながらも、フィンランドの風土が根底にある自然を感じる曲です。

芥川也寸志、若き日の名曲

新交響楽団の創立指揮者にして音楽監督であった芥川也寸志は、文豪芥川龍之介の息子として生まれ、作曲家として魅力的な作品を残す一方、指揮者や音楽番組の司会者などさまざまな音楽活動を通して音楽を広め、日本の戦後の文化の発展に大きく貢献しました。今回演奏する「交響三章」は、東京音楽学校在学中の作品で、躍動するリズムと叙情的なメロディーの生き生きとした曲です。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

ご来場いただくお客様へ（新型コロナウイルス感染症対策）

新交響楽団では、感染予防対策を講じてリハーサルを行い演奏会に臨みます。会場の東京芸術劇場も感染拡大防止に関する取り組みをおこなっています。

当日はご自宅で検温していただき、マスク着用にてご来場ください。37.5℃以上の発熱、咳・のどの痛み・倦怠感等の体調不良がある方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方は、ご来場をお控えください。

会場入り口で、ご来場の皆様の体温を測定いたします。会場内ではマスクを着用し、咳エチケットやこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。ほかの人との距離を最低1m（できれば2m）とるようにし、大きな声での会話はお控えください。

体調不良等が認められる場合は、ご入場をお断りする場合があります。なお、体調に不安がありご来場をお控えいただく場合や、当

日の検温の結果入場いただけない場合は、チケット代を払い戻しします。

詳しくはホームページにて注意事項や公演の最新情報をご確認ください。これらのお願ひ事項につきましては、状況により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

今後の演奏会予定

<第252回演奏会>

2021年1月17日（日）14時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

曲目 スメタナ/連作交響詩「我が祖国」全曲

<第252回演奏会>

2021年4月18日（日）14時 東京芸術劇場

指揮 寺岡清高

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志（1925-89）の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展（1976年にサントリー音楽賞を受賞）、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってまいりました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ（山田一雄指揮、1979～90）、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏（石井眞木指揮、1993）、伊福部昭米寿記念演奏会（2002）、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演（高関健指揮、2004）、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演（飯守泰次郎指揮、2006）など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券（どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能）を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail：shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時～9時、東京芸術劇場（池袋）、クラシック・スペース☆100（大久保）他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。3ヶ月～1歳2,560円、2歳～6歳児2,160円。お申込み・お問合せ：HITOWAキャリアサポート株式会社わらべうた電話0120-415-306（平日9:00～17:00、土日祝日休み）